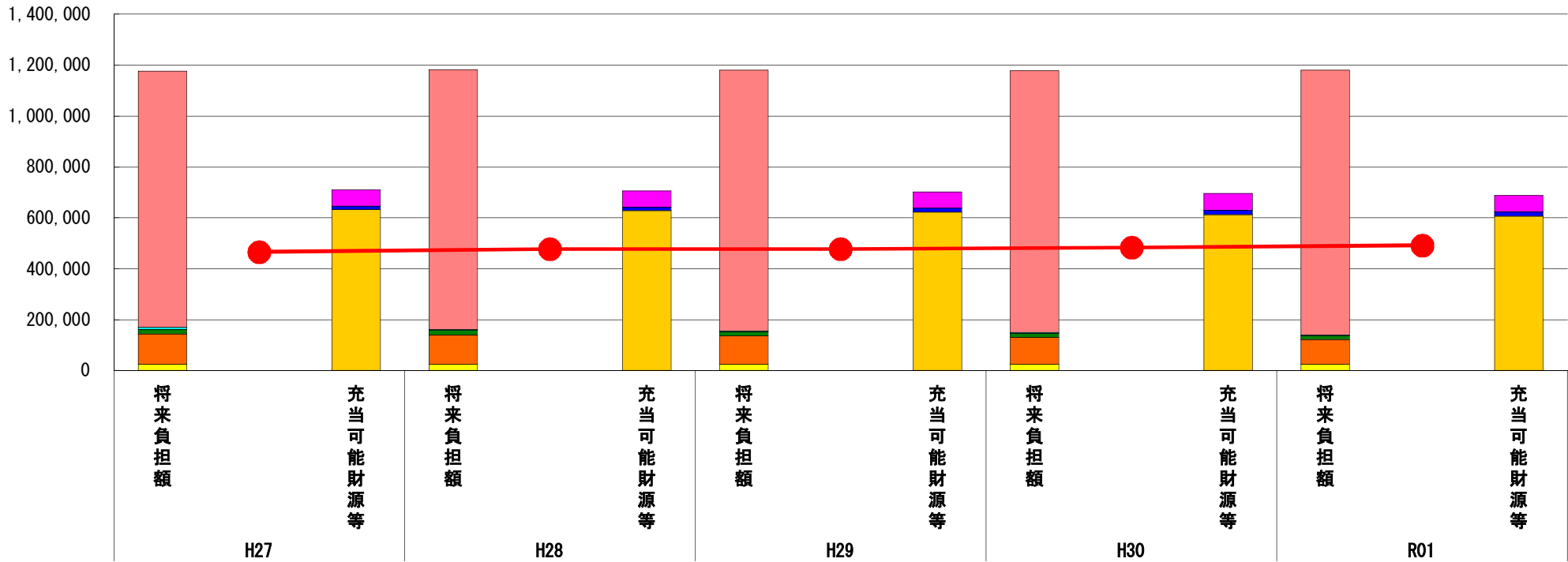


(10) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

令和元年度

和歌山県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H27	H28	H29	H30	R01
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		1,006,493	1,020,761	1,024,364	1,029,197	1,041,122
	債務負担行為に基づく支出予定額		8,139	3,865	3,443	3,154	2,867
	公営企業債等繰入見込額		17,578	16,844	16,082	15,220	14,301
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		118,043	114,775	110,926	105,665	97,840
	設立法人等の負債額等負担見込額		25,582	25,792	25,558	25,218	24,281
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		62,770	63,674	63,890	65,072	63,235
	充当可能特定歳入		14,027	13,735	16,456	18,965	18,808
	基準財政需要額算入見込額		632,652	627,999	621,795	611,568	606,506
(A) - (B)	将来負担比率の分子		466,385	476,630	478,231	482,848	491,862

分析欄

令和元年度の将来負担比率の分子は、防災・減災、国土強靱化のための緊急対策等に伴う地方債残高の増加等により、前年度に比べ90億円増加となった。

今後、予算の収支不足を補うための行政改革推進債等を活用した場合、将来負担は増加していくおそれもあるため、事業の効率化・重点化によりこれらの県債発行を抑制するなど行財政改革の推進により健全化を図っていく。